



広報みよしを電子アプリ＆ウェブ「カタボケ」で！
10言語に対応し、アプリ登録すればPUSH通知で
毎号もれなく広報をご覧ください。詳しくは
QRコードから→



広報に掲載された人で希望者には、写真を差し上げます。秘書広報室 ☎049(258)0019(内線312)まで。

↓ 調印式に出席した三芳郵便局長と職員の皆さん。



三芳郵便局と協定締結 地域の住民サービス向上図る

7月31日(金)、日本郵政株式会社三芳郵便局と三芳町は「三芳町と日本郵便株式会社との包括連携に関する協定」を締結しました。この協定は、平成25年に締結した災害時における相互協力の覚書、平成29年に締結した協定等を整理したもので、地域経済活性化、女性の活躍・未来の子どもたちへの支援などが盛り込まれ、住民サービスの向上を図っています。

↓ 膨らむ蕾に「咲くのが楽しみ」と笑顔を見せる購入者。



津南町のカサブランカ販売 気高い花姿の「ユリの女王」

災害時の相互応援協定を締結している新潟県津南町のカサブランカが8月12日(水)、9月2日(水)、30日(水)の「みよっ子野菜市」で販売されました。みよっ子野菜市は毎週水曜日9:15頃から役場庁舎1階サテライトショップ2で開催されています。各日も大変な人気で、カサブランカはあっという間に完売。立派な蕾に購入した人からは笑顔がこぼれました。

↓ 認定を受けた農業への熱意溢れる4人の農業者たち。



認定農業者に認定書交付 認定未来の担い手農業者たち

7月9日(木)に役場で行われた認定農業者認定書交付式で新たに4人が認定されました。認定農業者制度は農業経営のスペシャリストを制度的に認定し、先頭を切って農業を担ってもらう制度です。三芳町では近年増加傾向にあり、116人が認定されています。町の農業を未来につなぎ、消費者に安心安全で新鮮な野菜を提供しています。

↓ 三芳の夜空に美しい花火が舞い上がりました。



サプライズ花火で元気を みよしまつり実行委員会からの贈り物

9月13日(日)、三芳町でサプライズ花火が打ち上げられました。今年度のみよしまつりは中止となりましたが、「地域の皆さんを元気づけたい」と、みよしまつり実行委員会が三芳町商工会の協力を受けて実現したものです。「密」を避けるために事前告知はせず、5分間というわずかな時間でしたが、夜空に咲いた色鮮やかな花火が私たちに勇気を与えてくれました。

災害時のコロナ対策

新型コロナウイルス感染症がまん延する状況で災害が発生した場合には、感染対策を万全にすることが大切です。感染拡大防止のために、住民の皆さんのご協力を願います。☎自治安心課防災・交通安全担当 ☎265～267



災害時のコロナ対策のイメージ写真。

災害時の行動



- 1 安全な場所にいる人は避難所に行かなくてもOK
- 2 避難所以外の避難先（親戚・知人宅等）も検討
- 3 避難時は感染予防用品をなるべく自身で持参

在宅避難

自宅で安全確保ができる人は、必ずしも避難所へ行く必要はありません。住み慣れた自宅での生活を続ける「在宅避難」を行ってください。在宅避難に備え、食料・水・生活必需品・常備薬などを1週間分程度備蓄しておきましょう。※自宅にいることが危険な場合は、避難所などの安全な場所に避難してください。

全て1週間分程度を備蓄

- 食料
- 水
- 常備薬
- 生活必需品
- 携帯トイレ
- その他必要なもの

体調管理の徹底
在宅避難の場合でも、健康に気を付けて過ごしましょう。

備蓄は1週間分程度
食料や水などの生活必需品は、1週間分程度備蓄しましょう。

避難先の検討
万が一に備え、避難所や知人宅などの避難先も検討しましょう。

避難所への避難

町の指定避難所は町内の小中学校です。避難所を開設する場合には、換気や消毒などを行い、可能な限り感染リスクが軽減されるよう努めます。また、物資には限りがあるため、マスクなどの感染対策用品はできるだけ持参してください。

避難所情報 (町HP)

今までの持ち出し品にプラス

- マスク
- 体温計
- 上履き
- ビニール袋
- アルコール手指消毒液
- ハンドタオル
- その他必要なもの

健康状態の確認
感染が疑われる人は職員に申し出て指示に従ってください。

手洗い・咳エチケット
手洗いやマスクの着用などの感染予防を徹底してください。

運営協力をお願い
健康な人は消毒作業等の避難所の運営にご協力をお願いします。